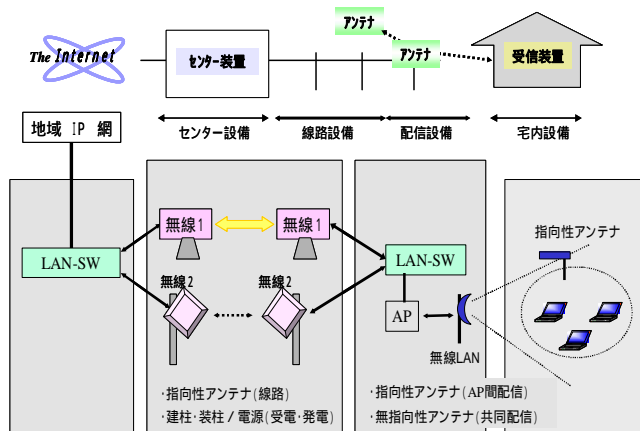
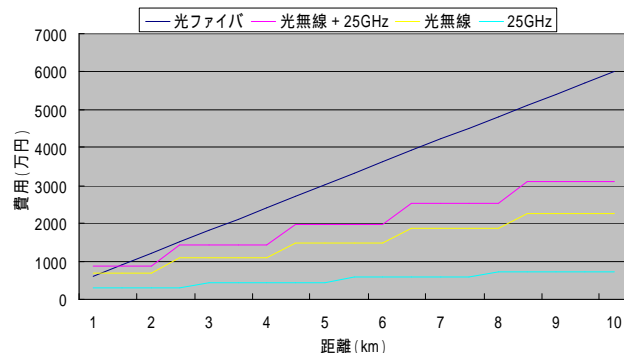


地域イントラ + 無線系システムの構成図



無線系システムの対象設備



無線系技術と光ファイバの導入コスト比較

**OBN協議会に入会しますと**

**情報交換会**  
 2ヶ月に1度、会長を含めた会員相互の情報交換会を開催します。会員企業の方は随時参加できます。

**ミニ講演会**  
 年に2回、光無線を含めた電波無線、可視光通信、その他ネットワークに関する新技術の紹介等、数名の講師を招いた数十名規模のミニ講演会を有料で開催します。会員企業の方は参加無料です。

**光空間通信フォーラム**  
 年に1回、光空間通信フォーラムを開催します。会員企業は優先的に展示・出展することができます。

**技術資料**  
 OBN協議会にて収集・交換された技術情報は、会員企業に配布されます。

**高速光空間通信網推進協議会 会則 (抜粋)**

**組織**  
 協議会は、協議会の趣旨に賛同する個人、法人、行政機関等をもって構成する。

**会員**  
 協議会の会員は、正会員、特別会員とする。

**会費**  
 正会員は1口年間5万円、原則として2口以上とする。

問合せ・申込み先  
<http://www.obn.ne.jp>

**OBN協議会事務局**

[正式名称: 高速光空間通信網推進協議会]  
 [ Optical Beam Network Promotion Council ]

〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-10-8  
 第3-Sビル 606 藤田技術士事務所内  
 TEL:03-3297-8660 FAX:03-3297-8660  
 常任幹事 黒川 敏 E-mail: kurokawa@obn.ne.jp  
 技術顧問 藤田嘉美 E-mail: r\_fujita@td6.so-net.ne.jp

2008-06-01

**光空間通信でブロードバンド環境を推進する**



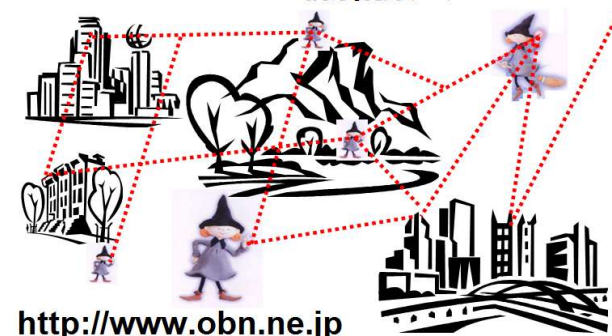
会長 羽鳥光俊

ご挨拶

21世紀を迎えて、ネットワークは一層の高速化とIP化が目覚しく進んでおり、「ユビキタスネットワーク社会」へ向けた期待もさらに膨らんできております。このような社会を支える技術としてワイヤレス通信技術が大きな役割を果たし、電波や光を使った多様な技術開発が、産学官において行われております。高速光空間通信網推進協議会(OBN)は、このような状況の中で特に光空間通信にフォーカスし、この技術発展及び普及を目的に1997年に設立されました。

光空間通信に関しては、大学や企業などにおいて研究開発が行われており、電波無線と違って電波障害が無く且つ高いセキュリティ(秘匿性)が得られ、人体への健康影響が懸念されている電磁波曝露面でも安心・安全です。最新の実験結果を伴う、調査検討結果から、全ての地域におけるブロードバンド整備において、光無線を基幹として、25GHz無線、2.4(5)GHz無線システムなどの複数無線技術を組み合わせることで、光ファイバと同等のスループットと信頼性の維持確保が可能で且つ、整備・維持コスト面、構築期間短縮面でも有利であることが報告されております。有線系、無線系システムの英知を集めた情報交流の場を提供しつつ、地域特性と住民ニーズを踏まえ、ユーザーにとって便利で安心できるブロードバンドネットワーク社会の構築に貢献していく所存です。

**OBN協議会**



# 組織と会員

## 組織

会長 羽鳥光俊(中央大学理工学部教授、  
 東京大学名誉教授)  
 副会長 八嶋弘幸(東京理科大学 工学部教授)

## 会員企業

キヤノン株式会社  
 住友電設株式会社  
 東邦電気工業株式会社  
 浜松ホトニクス株式会社  
 グローバルアクセス株式会社  
 株式会社 オプトロニクス社  
 株式会社 コミュニチュア  
 FAシステムエンジニアリング株式会社  
 ビジネスインテグレーションパートナーズ株式会社

## 特別会員

西澤紘一(職業能力開発総合大学校 客員教授)  
 大槻知明(慶應義塾大学 理工学部 准教授)  
 有本好徳(情報通信研究機構光宇宙通信 グループリーダ)  
 藤田嘉美(藤田技術士事務所 所長)  
 藤澤 等(県立長崎シーボルト大学 情報メディア科教授)

## 事務局

常任幹事 黒川 敏  
 技術顧問 藤田嘉美

## 会員・会費

OBN協議会は、本会の趣旨に賛同する個人、法人等から構成されています。

会員は正会員(年会費1口5万円、原則として2口以上)、特別会員に分類され、正会員としてご参加いただきますと、総会や幹事会を通じて協議会の運営に参画できるほか、部会等の活動により得られた情報のうち、正会員にのみ開示する情報を得ることができます。

# 活動状況

## 平成9年度

平成 9年11月21日 設立総会  
 平成10年3月17日 オープニング披露会

## 平成10年度

平成10年4月28日 室内相互接続実験 実施 (非公開)  
 平成10年6月30日 室外相互接続実験 実施 (公開)

## 平成11年度

平成11年 東京赤坂地区に大規模光無線実験網を構築し、  
 実証実験を実施。

## 平成12年度

平成12年度から 3年間 通信・放送機構 委託研究「簡易型  
 インターネットアクセス網構築のための技術」に参画。  
 平成12年12月 広帯域光通信シンポジウム2000を開催  
 平成13年2月 広帯域光通信シンポジウム2001大阪を開催

## 平成13年度

平成13年11月 広帯域光空間通信シンポジウム開催  
 平成14年2月 OBN フォーラム2002 in TOKYO 開催

## 平成14年度

平成14年10月 APOC 2002に出展(中国・上海)  
 平成15年2月 つくばコリドーシンポジウム参加

## 平成15年度

平成15年4月 飯田橋に事務所を開設  
 平成15年4月 NPO法人 高度情報通信推進協議会に加入  
 平成15年5月 OBNフォーラム2003を開催

## 平成16年度

平成16年11月 APOC 2004(中国・北京) に出展  
 平成17年3月 光空間通信フォーラム2005 in Tokyo 開催

## 平成17年度

平成18年2月 光空間通信フォーラム2006 in Tokyo 開催

## 平成18年度

平成18年6月 光空間伝送・光無線通信フォーラム2006 開催  
 平成18年10月 八丁堀に事務所移転  
 平成19年3月 光空間通信フォーラム2007 開催  
 平成19年10月より 総務省 次世代BB技術の利用環境整備  
 に関する研究会 参加

## 平成19年度

総務省 次世代BB技術の利用環境整備に関する研究会 参加  
 平成19年9月 次世代双方向ブロードバンドに係る新技術の  
 適用領域の拡大方策に関する調査検討会 参加。  
 平成19年10月 次世代BB環境整備に向けた実証実験 参加。  
 平成19年10月 地域ICT未来フェスタinあおもり2007 出展  
 平成20年3月 光空間通信フォーラム2008 開催

# 今後の活動

国内のブロードバンド構築に貢献するために、光無線を含めた 電波無線・可視光通信・周辺設備に関連する研究例会、講演会、講習会等を開催する。

<b>入会申込書</b> (送信先FAX番号:03-3297-8660) 年 月 日	
OBN協議会の趣旨に賛同し、( )月より下記 のとおり入会を申し込みます。	
会員種別	・正会員( )口 ( )円
社 名	
郵便番号 連絡先 住 所	
申込者氏名 部課名	
TEL	
FAX	
eメール	